

## 地域別検討協議会学区別検討資料(胆振東学区)

胆振東学区高校配置計画の見込み										
区分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの 増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの 増減
学区内中卒者数	1,691	1,708	1,653	1,631	1,609	1,587	1,511	1,482	▲ 209	▲ 149
対前年増減	+ 30	+ 17	▲ 55	▲ 22	▲ 22	▲ 22	▲ 76	▲ 29		
苫小牧市中卒者数	( 1,468 )	( 1,459 )	( 1,434 )	( 1,434 )	( 1,394 )	( 1,393 )	( 1,328 )	( 1,302 )	▲ 166	▲ 132
対前年増減	+ 16	▲ 9	▲ 25	+ 0	▲ 40	▲ 1	▲ 65	▲ 26		
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)～13(2031)年度までの見通し		摘要
苫小牧東	6		6	-1			公私比率勘 案後0～1 相当者 の減	公私比率勘案後4年間で2～3学級に相当する中卒者の減		厚真の協力校
苫小牧西	4		4	0		穂別の協力校				
単 苫小牧南	4		4	19						
苫小牧工業		工 6	6	9						
苫小牧総合経済		商 3	3	-2						
白老東	2		2	19						
地 厚 真	1		1	14						
地 穂 別	1		1	39	普▲1					
追 分	1		1	7						
中高 鷗 川	2		2	29						
10校	21	9	30	133	普▲1					

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。

注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携校。

## 学区の検討事項と現状・課題

学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、22人の中卒者数の減のほか、市町ごとの中卒者の状況や地元からの進学状況なども考慮した検討が必要</li> <li>令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で149人の中卒者数の減が見込まれ、特に令和10(2028)年及び令和12(2030)年は、苫小牧市でそれぞれ、40人、65人の大幅な減が見込まれることや、これまでの定員調整の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、苫小牧市内及び周辺町で、再編整備を含めた配置の在り方の検討が必要</li> </ul>